

▼別ショットの写真



今月の表紙は、4月16日に荻の不動ヶ滝で開催された、第30回スカウトカーニバルin幸田です。町内のボーイ・ガールスカウトのメンバー総勢90人が「自然の中で遊ぼう」をテーマに、木にロープを張って作ったブランコなどを楽しみました。

今月の表紙

こゝたの文化財

このコーナーでは、幸田町教育委員会発行の文化財ウォーキングマップに掲載している町の文化財を隔月で紹介していきます。

坂崎・長嶺地区 その①

坂崎陣屋跡

(坂崎字御屋敷10)

坂崎陣屋跡は慶長19年(1614年)に大久保忠教が坂崎に築いた役所跡です。大久保氏は代々徳川氏の家臣で岩津譜代と呼ばれる由緒ある家柄で、坂崎に陣屋をおいてから明治時代に至るまで領主として坂崎を治めました。そのため八百富神社や近接する正源寺には大久保氏ゆかりの品が伝わっています。



正源寺

(坂崎字御屋敷20)

正源寺は遠州今切関所の奉行佐橋甚兵衛吉次が坂崎に住む母の菩提を弔うために明暦3年(1657年)に建立しました。境内には母の墓碑が建っています。

正源寺は大久保家との関係が深く、大久保忠教の戒名の一部をもらい日清山を名乗ることを許されています。本堂の屋根瓦には大久保家の家紋「上がり藤に大」の字が使われています。



みんなの 広場

皆さんからのサークル紹介・みんなの作品展への応募をお待ちしています。

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報グループ
☎62-1111(内線334) FAX63-5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

みんなの作品展!

「人権について考える作品コンクール」からのセレクトです



なつめ はるか
深溝小5年 夏目 遥華 さん



いそむら いぶき
豊坂小3年 磯村 衣吹 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

川口三太郎の言葉

「ちよーらかす」

5月5日、うちの坊やは今日が初節句。でも、そのご機嫌取りを無茶振りされたおしいちゃん……「おれがちよーらかがいちゃ、よけくすっちゃん」

「私があやしては、なおさら機嫌を損ねてしまうよ」という意味です。

「ちよーらかす」は、自動詞「ちよーける」の他動詞形で、どちらも、この地方の方言として、過去に、小欄で取り上げたことがあります。それは、20年も前のことですので、補元の意味も含め、今回また取り上げてみました。

「ちよーける」とは、ふざけることで、江戸時代には「戯ける」と当てられました。が、「嘲(あざけ)る」から転じた「嘲(ちよ)ける」が本来、たといわれます。その他動詞形である「ちよーらかす」も、当然「嘲る」から転じたもので、例文のように、ちよーらかす相手が幼児なら「あやす」ことになりませんが、大人なら「からかう」とか「だます」、相手が人ではなく猫なら「じゃらす」といった具合に、相手によって意味合いが変わってくるのです。

戦国時代、戦わずして勝つため、智将たちが巧みに用いたのが「調略」ですが、これも、他人の空似なのでしょうか……

(文・つるぎ)



青春トークリレー
第290走者

とこ かずま
床 和真 さん

野場区在住 20歳 職業 学生
血液型 O型 身長 170cm
好きなタイプ 料理が上手な人
好きな芸能人 オードリー

僕は今、大学の工学部で学んでいます。僕は物理がとても好きです。物理学の可能性に強く惹かれるからです。というのも、僕たちの身の回りには便利で生活を楽に快適にしてくれるものがたくさんあって、それらの多くは物理の原理や考え方を応用したものであるからです。その一例に飛行機が挙げられます。僕が工学部を目指したのも飛行機に憧れ、何らかの形で航空産業に携わりたいと思ったことがきっかけです。

僕が今、学んでいること、これから学んでいくことが将来どんなことに結びつくのかはまだ分かりませんが、何か人のためになるものをつくれたらいいなと思っています。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
企画政策課までご連絡ください。
本人のご家族にお渡しできます。



「おいしい」「楽しい」はみんなで一緒に味わえる気持ち。そこで、わしだ保育園では、クラスのお楽しみとしてホットケーキ作りを計画しました。
何日も前からエプロンを用意したり、ホットケーキ作りごっこをしたりと、その日までわくわく♪
粉を混ぜたり、流し入れたり、ひっくり返したり。子どもたちの出番がいっぱいです。まずは年長の青

おいしくなあれ♪

わんぱくどより
「某日某日」
「わしだ保育園」



バッチがやってみます。そして「大丈夫、みんなもできるよ」と、頼もしい声を聞き、年少の桃バッチ・年中の赤バッチへバトンタッチ。「おいしくなあれ♪」とおまじないをかけて完成！ここで、一番楽しいお手伝い、味見をします。誰もが笑顔になる立派なお手伝いを経験し、大満足のみ

さらに、ホットプレートいっぱい広がる特大ホットケーキ作りにも挑戦です。お月さまみたいーと、今か今かと出来上がり待ち：「ふかふか〜」「おいしい」未満児さんや調理員さんにもおすそ分けをし、保育園のみんなでおいしくいただきました。



桜の前で記念撮影をしようとしていた家族に「よかったら撮りましょうか」と声を掛けて撮影した後、お父さんがもう一度撮りなおしているのは、私が撮った写真の出来栄が悪かったせいだとは信じたくない編集者のKです。
行ってきました幸田文化公園のしだれ桜まつり。ここ2、3年は早咲きの年が続いていましたが、今年はソメイヨシノなどと比べて1週間ほど遅い開花となり、4月8日に満開宣言が出されました。新聞で紹介された翌日は、特にたくさんの方々がにぎわいました。今年こそは、しだれ桜の写真を表紙にと満開の前後を合わせて7回ほど足を運びましたが…
さて、今月号のフォトニュースでもご紹介していますが、今年の箱根駅伝に大東文化大学の選手として出場した、鈴木太基さんが役場を訪れ、お話を伺うことができました。1年前にもメンバーに選ばれながら、直前で調子を落として外された悔しさを忘れず、独学でメンタルトレーニングに取り組み、本番で自分の力を発揮できるようにになったと教えてくれました。私も本番でいい写真が撮れるようにメンタルトレーニングに取り組みたいと思います。(K)

ちよと
編集者の
わんぱくどより